

地域包括ケアシステム
構築のためのヒント

私たちの街で 最期まで

求められる在宅医療の姿

〔編集〕日本在宅ケアアライアンス 〔監修〕苛原 実／太田 秀樹



日本在宅ケアアライアンス 刊
公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団 助成

私たちがつくりました

※五十音順・敬称略



〈監修〉
太田 秀樹 医師

- 日本在宅ケアアライアンス 共同事務局長
- 全国在宅療養支援診療所連絡会 事務局長

自治医科大学附属病院の医者でしたが、1992年から栃木県小山市で訪問看護を基軸とした在宅医療を始めました。苛原実とともに、在宅医療の推進を通して街づくりに力をいれています。現在は、診療だけでなく、在宅医療に関する会議や講演、執筆で忙しくしています。

〈編集委員〉
福井小紀子

保健師／看護師

- 大阪大学大学院教授

在宅看護・老年看護を含む地域看護学が専門です。厚生労働省看護技官を経て、現在は大学院で研究の指導に当たっています。在宅医療の主役は、なんといっても訪問看護師です。訪問看護師が、主体的に職能を存分に発揮できるように願って仕事をしています。



〈監修〉
苛原 実 医師

- 日本在宅ケアアライアンス 共同事務局長
- 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク 会長

千葉県松戸市で在宅医療を始め、24年。整形外科が専門ですが、今は地域のかかりつけ医として、認知症から末期がんまで診ています。1996年から、太田秀樹とともに、在宅ケアを支える診療所市民全国ネットワークの仲間として在宅ケアの普及に努めています。



〈編集委員〉
鷲見よしみ 歯科医師／
介護支援専門員

- 山梨県介護支援専門員協会会長
- 前日本介護支援専門員協会会長

歯科医ですが、在宅医療の重要性に気がつき、在宅ケアの要としての介護支援専門員たちの組織で活動しています。良質の在宅ケアには、介護支援専門員の力量のアップが必要です。また、制度の充実も大切です。市民がもっと幸せと感じる在宅ケアができるようにと願って頑張っています。



日本在宅ケアアライアンス(Japan Home Health Care Alliance: JHHCA)は、「在宅医療推進のための共同声明」(国立長寿医療研究センター・在宅医療助成勇美記念財団共同主催 在宅医療推進フォーラムにて公開 2014年11月23日改定、下記参照)に賛同し、在宅医療を真摯に実践し、そのあり方を研究し、普及推進を目指す専門職らが組織する団体によって構成される連合会です。2017年6月現在、右記の18団体が加盟しています。

- 一般社団法人 全国在宅療養支援歯科診療所連絡会
- 一般社団法人 全国在宅療養支援診療所連絡会
- 一般社団法人 全国訪問看護事業協会
- 一般社団法人 全国薬剤師・在宅療養支援連絡会
- 一般社団法人 日本介護支援専門員協会
- 一般社団法人 日本ケアマネジメント学会
- 一般社団法人 日本在宅医学会
- 一般社団法人 日本在宅医療学会
- 一般社団法人 日本在宅栄養管理学会
- 一般社団法人 日本在宅ケア学会
- 一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会
- 一般社団法人 日本訪問リハビリテーション協会
- 公益財団法人 日本訪問看護財団
- 公益財団法人 全国国民健康保険診療施設協議会
- 特定非営利活動法人 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク
- 特定非営利活動法人 日本ホスピス緩和ケア協会
- 特定非営利活動法人 日本ホスピス・在宅ケア研究会
- 日本在宅ホスピス協会

在宅医療推進のための共同声明

1. 市民とともに、地域に根ざしたコミュニティケアを実践する。
2. 医療の原点を見据え、本来あるべき生活と人間の尊厳を大切にした医療を目指す。
3. 医療・福祉・介護専門職の協力と連携によるチームケアを追求する。
4. 病院から在宅へ、切れ目のない医療提供体制を構築する。
5. 療養者や家族の人生により添うことのできるスキルとマインドをもった、在宅医療を支える専門職を積極的に養成する。
6. 日本に在宅医療を普及させるために協力する。
7. 毎年11月23日を「在宅医療の日」とし、在宅医療をさらに推進するためのフォーラムを開催する。

地域包括ケアシステム構築のためのヒント

私たちの街で最期まで — 求められる在宅医療の姿

発行日：2017年6月30日
 編集・発行：日本在宅ケアアライアンス
 〒102-0083 東京都千代田区麹町3-5-1 全共連ビル麹町館
 在宅医療助成勇美記念財団事務局
 Tel：03-5226-6266 Fax：03-5226-6269
 印刷：(有)ダイキ

監修：苜原実、太田秀樹
 編集委員：鷺見よしみ、福井小紀子
 事務局：志藤洋子、鹿島真美子(国際長寿センター日本)
 構成・執筆：廣石裕子
 制作：アドバンスクリエイト株式会社
 デザイン：Ludoviko design
 イラスト：吉田裕美
 *監修者・編集委員のプロフィールは裏表紙参照

取材・執筆にご協力いただいた方々(五十音順・敬称略)

大澤 光司	全国薬剤師・在宅療養支援連絡会会長
大西 康史	南魚沼市民病院副院長
前田 佳予子	日本在宅栄養管理学会理事長
三木 次郎	結城市地域ケア研究会代表(歯科医師)
和田 忠志	東京医科歯科大学臨床教授

徳島市医師会、船橋市医師会、駒ヶ根市、徳島市、
 栃木市、船橋市、昭和伊南総合病院